

# 平成30年度 根室市政モニター会議 提言に対する回答

## 防災・減災

### (提言1) 地域防災力について

---

#### 【提案事項】

#### ○ 隣接する複数の町会等が連携した訓練や自主防災組織の結成の促進

##### 【回答要旨】

- ・町会等が連携した訓練は、沿岸地域の津波避難訓練で既に実施している。
- ・内陸部の町会等が連携した訓練としては、避難所運営訓練などが有効だと考えている。
- ・単一町会では実動メンバーが少なく組織の結成が困難な場合は、近隣町会との合同組織の結成などを推進したい。

#### ○ 町会よりもさらに小さいコミュニティである各班を対象とした防災意識の啓発

##### 【回答要旨】

- ・市としても「共助」の根幹は、隣近所である町会の「班」だと考えている。
- ・取組みの参考に、町会における「班」の災害時の役割について例示したい。

#### ○ 各地域における有識者による防災教育の実施

##### 【回答要旨】

- ・先日の自主防災組織活動研修会の様に、有識者を招き、各町会の取組みの情報共有や自主防災組織の班毎の役割に関する研修などを企画したい。

#### ○ 各町会、自主防災組織等による実践的な訓練実施に向けた支援

##### 【回答要旨】

- ・「根室市自主防災組織活動の手引き」等に基づき、安否確認や被害状況の把握、避難行動要支援者の避難訓練、避難所運営訓練など、各町会の希望やレベルに合わせた訓練の実施を支援していきたい。

#### ○ 町会対抗防災運動会の実施

##### 【回答要旨】

- ・各町会の行事予定の都合もあり調整が難しいと思われるが、町会連合会等と検討したい。

## (提言 2) 災害時の情報発信について

---

### 【提案事項】

- 広報車以外にも防災行政無線が聞こえない地域へ確実に情報を伝える手段の構築

#### 【回答要旨】

- ・ 前回の大規模停電を踏まえると、やはり携帯ラジオが有効。
- ・ スマートフォンを持っている人は、SNSやねむろメールも利用してもらいたい。
- ・ 災害時に、市民の皆さんに必要な情報が一番流れるのは「FMねむろ」である。スマートフォンアプリでも聞けるようになった。
- ・ Jアラート情報などを、家庭の電話に自動で発信する「緊急情報配信サービス」を始めているので、スマートフォンを持っていない方に利用してもらいたい。
- ・ (防災行政無線の更新に合わせ、中心部市街地への屋外拡声子局の増設も検討中。)

- 流言、虚報（デマ）が流れた際の迅速な対処

#### 【回答要旨】

- ・ 出所のわからない情報に気をつけて、市からの正しい情報を聞いてもらいたい。
- ・ デマが流れた場合は、市から直ちに正しい情報を発信したい。

- 「ねむろメール」の登録促進（広報紙を使った更なる周知等）

#### 【回答要旨】

- ・ 「ねむろメール」については防災講座等で周知している。
- ・ 高齢の方は、登録方法が難しい場合もあるので、携帯ショップ等との連携も検討してみたい。

- 災害時に市民が必要としている情報の正確かつ迅速な発信

#### 【回答要旨】

- ・ 複数の情報伝達手段で正確かつ迅速な情報発信に努めたい。

### (提言3) 防災備蓄品について

---

#### 【提案事項】

##### ○ 必要な備蓄品の定期的な見直しと管理状況の把握

###### 【回答要旨】

- ・避難所などで必要となる備蓄品については、様々な新しい物も出てきており、充実に努めたい。
- ・食料の賞味期限などは市で管理しているが、発電機等は学校等に依頼し、年に数回エンジンをかけたり、燃料のガソリン携行缶のローリングストックなどを行っており、今後も適正な管理に努めたい。

##### ○ 一般家庭で使用しなくなった介護用品等の備蓄品としての活用

###### 【回答要旨】

- ・全国の事例では、物品の保管、仕分けが大変なため、個人からの物品等の寄付をお断りしている事例などもあり、慎重な検討が必要である。

### (提言4) 総合防災訓練について

---

#### 【提案事項】

##### ○ 一般の市民も参加できる訓練の実施

###### 【回答要旨】

- ・総合防災訓練の内容としては、消防本部のはしご車体験搭乗や、航空自衛隊、N T Tなど防災関係機関による展示ブース、参加型メニューとしては初期消火訓練などを実施してきた。また、平成27年度の際は、道内の自衛隊による訓練（ノーザンレスキュー）と合わせて日曜日に開催し、防災関係機関のマスコットキャラクターを集めたPRなどを実施し、多くの子供連れの家族に参加していただいた。
- ・ただ、総合防災訓練については、防災関係機関が連携した実動訓練が大きなウエイトを占めており、充実した市民が参加できる訓練メニューの用意が難しい部分もあり、市民参加型の訓練は、町会ごとの実施や、総合防災訓練とは別の機会として実施を検討していきたい。

##### ○ 民間企業や団体を交えた実践的な訓練の実施（社会福祉協議会が中心となった民間による搬送チームの訓練参加など）

##### ○ 要介護者や障がい者の避難訓練の実施（実際の要介護者、障がい者による訓練のほか、体験キットやマネキンを使った模擬訓練の実施）

###### 【回答要旨】

- ・避難行動要支援者の搬送訓練などが考えられ、実際に要配慮者の方の参加となると難しい部分もあるが、社会福祉協議会や介護タクシー等と更に連携し、実施に向けて検討していきたい。

## (提言5) 避難所・避難場所について

---

### 【提案事項】

#### ○ 適正な避難所・避難場所の検討

##### 【回答要旨】

- ・平成29年に、災害対策基本法の基準に基づき、従来の避難場所・避難所の見直しを行ったところ。

#### ○ 地域の実情に応じた避難路の再考、周知

##### 【回答要旨】

- ・沿岸地域では、「地域版津波避難計画」というものを策定しており、津波発生時の避難先や避難ルートについて、地域の皆さんで協議しながら決定し、地図に示した計画書となっている。
- ・津波以外にも、大雨や高潮、土砂災害の場合など、内陸部の地域でも地域版の避難計画書（地区防災計画）を作成することも、地域防災力の向上に繋がるものであるため、今後、地域と一緒に取り組んでいきたい。

#### ○ 高齢者や障がいのある方には必須である洋式トイレの整備及び洋式トイレが設置されている避難所の周知徹底

##### 【回答要旨】

- ・災害時のトイレについては、各避難所に「簡易トイレ」を備蓄しており、和式トイレがある施設については、トイレの上に椅子を置くような形で洋式トイレになる物を用意している。

## 高齢者福祉

### (提言 1) 高齢者を地域で支える体制について

#### 【提案事項】

- 高齢者が孤立しないよう行政のほか、福祉団体、ボランティア団体、企業等が連携した地域で支えあうための情報共有の場づくり

#### 【回答要旨】

高齢者の情報が悪用されないよう取り扱いには慎重を要します。日常生活の範囲内で知り得た情報を基に、小さなコミュニティ単位（町会の班、隣近所）のなかで、高齢者を支え合う体制が望ましいと考えております。

- 高齢者の情報を地域で共有できる仕組みづくり

#### 【回答要旨】

当市の高齢者の状況を各種団体が理解し合い、共通認識を持って、小さな単位から支え合いの体制が構築できるようにしたいと考えております。

### (提言 2) 高齢者福祉に関わる人材の確保・育成について

#### 【提案事項】

- 外国人介護人材の受入、元気な高齢者の活用など多様な人材の参入促進
- 市内介護サービス事業者の求人に対する助言（市外関連学校等に対し求人情報を必ず提供するよう助言するなど）

#### 【回答要旨】

介護業界では慢性的な人材不足が続いております。その要因のひとつに若者が重労働を理由に、就職先として介護業界を選択しないこともあります。介護業界が就労改善につとめても、一度貼られたレッテルは、なかなか払しょくされないのが現状です。

今回、提言された取り組みについては、介護業者と情報を共有し、知恵を出し合いながら実行できるよう努めたいと考えております。

- 福祉サービスの担い手確保（人手が不足している除雪サービスで企業や高校生を活用するための協力協定の締結など）

#### 【回答要旨】

除雪サービスに関しては、今後、高齢者を取り巻く小さなコミュニティ単位で助け合えるよう、転換したいと考えており、この過程のなかで高校生や企業の活用についても検討したいと考えております。

### (提言3) 高齢者福祉サービスについて

---

#### 【提案事項】

#### ○ 「高齢者バス等優待乗車券」に変わる高齢者の移動手段の検討

##### 【回答要旨】

全ての高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らしていける体制は、地域包括ケアシステムとして、位置づけられ、市といたしましても、団塊世代の方が75歳に到達する2025年に向けて、構築を進めております。

路線バスに変わる移動手段としては、ハイヤーが考えられます。当市では、重度肢体不自由者等ハイヤー等乗車券の交付事業があり、該当する高齢者は、こちらを選択しています。不公平感なく、この制度を拡充できないか、検討してまいります。

#### ○ 高齢者の買い物支援としてスーパーやコンビニなどへの移動販売の要請

##### 【回答要旨】

移動販売車については、市内では2業者の計3台が稼働しております。それぞれ曜日ごとにコースを決めており、また宅配をしているコンビニなどもあります。

今年度、根室市社会福祉協議会に委託した生活支援体制整備事業のなかで、「高齢者暮らしのお役たち情報」を冊子にし、ホームページ上でも公開しておりますので、今後、必要に応じて業者に要請したいと考えております。

#### ○ 除雪サービスにおけるサービス基準の明確化とサービス利用者への周知徹底による理解促進

##### 【回答要旨】

一人暮らし等の高齢者の除雪サービスは、自宅から道路までの緊急避難路の確保のため実施してきたものです。高齢者の希望を叶えるため、場合によっては除雪の範囲を、作業従事者の判断で広げてきたこともあり、今後とも制度の周知徹底につとめたいと考えております。

## (提言 4) 施設介護について

---

### 【提案事項】

#### ○ 各施設の対応人数、入所状況などの情報公開

##### 【回答要旨】

介護福祉課では、おおむね四半期ごとに各施設の待機状況を把握しております。各施設としては、申込を辞退しない限り、そのまま登録しており、単純に全部集計すると、現在 126 人が待機者となっております。この 126 人の内訳を確認すると、他の施設に入所している方が、過去に申し込んだ施設全ての待機者となっている場合があり、重複や施設入所者を除いた、在宅あるいは入院中の高齢者の待機者は、現在 70 名となっております。

このような状況を市民に理解していただくためにも、入所状況の公開は必要と感じており、どのような形で公開すべきか、施設とも相談したいと考えます。

#### ○ 介護事業者に対する積極的な参入の呼びかけ等による介護施設の充実

##### 【回答要旨】

介護施設の充実に関しては、北海道の交付金を活用しながら、公募によりグループホームの開設支援を平成 31 年度に行う予定です。